

福島盆地に広がる春の絨毯

残雪を作る「吾妻の雪うさぎ」が吾妻小富士に現れる頃、里では桃の花や菜の花が一斉に花開き、待ち望んだ春の訪れを伝えてくれます。桃、黄、そして残雪の白と自然の彩色が福島盆地を桃源郷のように色づけていきます。

見頃 4月中旬～ **見所** 飯坂温泉まで続くフルーツライン沿線



至福の時間を 感じる花と雪



春、雪の街道が続く「磐梯吾妻スカイライン」

雄大な自然を残す吾妻山を走り抜け「日本の道100選」にも選ばれた山岳有料道路。冬の間に積もった雪が、除雪車によって道路脇に積み上げられ、4mになる雪の壁となります。冬の世界と花の季節を迎えた福島盆地、2つの季節を楽しむ贅沢なひとときが、この地にはあるのです。(雪の街道は4月8日～4月下旬頃まで)

開通期間 4月8日～11月中旬

問 福島県道路公社 TEL 024-521-5530

次々と訪れる 花の季節

桜の季節、静かに咲く水芭蕉

桜が見頃を迎えるころ、福島盆地を囲む山間に水芭蕉が咲き始めます。土湯周辺には群生地が多く、その一つ仁田沼(にだぬま)では約10万株の水芭蕉が湿地に広がります。途中の山道沿いには紅紫色のカタクリも小さな花を咲かせ、花の季節が静かに続きます。

【見頃】 4月中旬～下旬(土湯峠の水芭蕉は5月上旬)

【問】 土湯温泉観光協会 TEL 024-595-2217

民家園とアヤメ

江戸中期から明治初期の民家を中心に、世良修蔵が仙台藩士に連行されたといわれる福島有数の割烹旅館「客自軒(かくじけん)」や国指定重要文化財の芝居小屋「旧広瀬座」などが移築復元されています。5月下旬～6月下旬には、園内にアヤメが咲き、美しい調和を見せてくれます。7月下旬からは、民家園から続く松林沿いにヤマユリが群生し、夏の匂いに混じった甘い香りが俗世を忘れさせてくれます。

【開館時間】 9:30～16:30 【休館日】 火曜(祝日の場合翌日)

【問】 民家園 TEL 024-593-5249

大自然が何かを語りかけてくる

山岳道路「磐梯吾妻スカイライン」の中間点にある浄土平。様々な高山植物が澄んだ空気の中で静かに咲き、散策路からその可憐な容姿を観ることができます。周辺にも高山植物に囲まれた沼や火口湖が点在し、トレッキングや登山が自然の尊さを教えてくれます。

花の見頃 5月下旬頃～7月下旬

問 浄土平ビジターセンター TEL 024-543-0986(冬期休館)

吾妻山に広がる

花と星

太古の輝きが、夜空を覆いつくす場所

人工的な明かりが届かず、空気が冷え澄む浄土平。頭上には想像できない星空が広がり、宇宙の壮大さを感じさせてくれます。この地に設置された浄土平天文台では、夜間も開館し、訪れる人を宇宙の奥深くへと案内してくれます。(夜間開館 5～10月の水曜・土曜、雨天・曇天は中止)

問 福島市浄土平天文台 TEL 024-543-0988(冬期休館)



(天文台から見た宇宙)

撮影：福島市浄土平天文台長 豊島直紀氏



戊辰の悲話を今に伝える城(二本松市)

戊辰戦争で若い命を散らして逝った二本松少年隊。彼らが守ろうとした城跡には、現在、約1,700本の桜や紫陽花・睡蓮など四季折々に花が咲き、その静かな佇まいが、かつての動乱を感じさせます。「日本の100名城」にも選ばれ、二本松少年隊の群像彫刻、文科省史跡指定「戒石銘碑」、日本三井戸の1つ「日影の井戸」などが点在する公園となっています。

問 二本松観光協会 TEL 0243-23-1111



雄大な自然と豊富な湯量に恵まれた湯の里



吾妻山と安達太良山、荒川に囲まれた温泉街。オオナムチノミコトが鉾で付くと湯が湧き出したので「突き湯」と呼ばれ、そこから土湯の名が付いたとの説があります。麓に広がるこんにゃく畑の芋と吾妻連峰の清流が生み出す手作りこんにゃくが名物。



問 土湯温泉観光協会

〒960-2157 福島県福島市土湯温泉町字上ノ町1
TEL024-595-2217 FAX024-595-2016
<http://www.tsuchiya.gr.jp/>

PLUS Plan

旅のプチみちくさ

四季の里

中世ヨーロッパ風の大規模な農村公園です。園内には工芸館、農村いちば、農園レストラン、水車小屋、わんぱく広場、ハーブ園などがあり、工芸館ではこけしの絵付け、ガラス工芸などが体験できます

福島県福島市荒井字上鷺西1-1
TEL 024-593-0101 無休(年末年始及び施設点検日を除く)
開園時間9:00~21:00(施設の利用時間は各館ごと)



源泉掛流し方式の白い湯が美肌を作り出す



湯量豊富な乳白色の硫黄泉は美肌の湯と呼ばれ、皮膚病等にも効果があるといわれています。標高750mの高地にあり、山形県の蔵王、白布とともに奥州三高湯と称されます。吾妻連峰の清流と国産大豆から作る無添加豆腐が人気を呼んでいます。



問 高湯温泉観光協会

〒960-2261 福島県福島市町庭坂字高湯25
TEL024-591-1125 FAX024-591-1136
<http://www.naf.co.jp/azumatakayu/>

PLUS Plan

旅のプチみちくさ

高湯不動滝

吾妻連峰の一切経山から発する不動沢にかかる滝で、水は澄んでいます。火山に近く硫黄分を含むため魚の姿はありません。岩壁に洞穴が掘られ、不動明王が祀られています。

高湯温泉観光協会
福島県福島市町庭坂字高湯25 TEL024-591-1125



江戸時代には松尾芭蕉も訪れた奥州の名湯



古くは日本武尊が東征の折に発見したとも伝えられ、江戸時代には松尾芭蕉が「奥の細道」の旅で訪れました。宮城県秋保、鳴子と並び「奥州三名湯」といわれています。湯にラジウムを含むことが日本で初めて判明した「ラジウム卵発祥の地」でもあります。



問 飯坂温泉観光協会

〒960-0201 福島県福島市飯坂十綱町3番地
TEL024-542-4241 FAX024-542-4753
<http://www.iizaka.com/>

PLUS Plan

旅のプチみちくさ

医王寺

源平合戦で源義経の身代わりとなって命を落とした佐藤継信、忠信兄弟の菩提寺。境内にある「乙和の椿」の花が咲かないのは、二人の息子を失った母の悲しみのためだといわれています。

福島県福島市飯坂町平野寺前45
TEL024-542-3797 拝観時間8:30~17:00



ほんとの空、安達太良山麓に広がる温泉郷



坂上田村麻呂が東征の折に発見したともいわれ、全国でも珍しい酸性泉です。薬のなかった昔から、医療効果を求める多くの湯治客で賑わっていました。安達太良山の伏流水と地元の蔵人の技が作り出した味と香りのよい清酒で知られています。



問 岳温泉観光協会

〒964-0074 福島県二本松市岳温泉1-16
TEL0243-24-2310 FAX0243-24-2911
<http://www.naf.co.jp/dake/>

PLUS Plan

旅のプチみちくさ

智恵子の生家

高村光太郎の「智恵子抄」で名高い高村智恵子の生家である明治初期の造り酒屋の建物を復元。表に酒銘「花霞」の看板、軒先に屋号「米屋」の文字があり、智恵子が生まれ育った当時の面影を伝えています。

二本松市智恵子記念館
福島県二本松市油井字漆原町36
TEL 0243-22-6151 水曜定休(祝日の場合はその翌日)
開館時間9:00~16:30(入館は16:00)



もうひとつの旅の主演“うまい”を訪ねる

その土地でしか味わえない“うまい”ものに出会えるのも、旅の楽しみのひとつ。
気候や風土が生み出した自然の恵みはもちろん、街の人々の暮らしが生み出した“味の文化”も見逃せません。

餃子



福島市のサラリーマンは、勤め帰りに餃子でお酒を飲みその日の疲れを癒し、餃子を明日への活力源としてきました。

餃子の老舗が育んできた 多様な味と独創性の「円盤餃子」

福島市の餃子の歴史は、終戦直後に始まります。満州(現中国)から引き上げてきた人々を中心に都市部で形成された“闇市”の中に、満州で身に付けた餃子を売る店が多数ありました。日本で好まれる味をと、腕を磨き、厳しい競争を生き残ってきたのが、現在の餃子の老舗です。戦後から育まれた独創性が、他では見られない多様な餃子を生み出しました。

大半の餃子専門店が夕方から夜にかけての商いをしています。

蕎麦



日本そばの伝統製法に、店毎の技や型を取り入れ、個性と特徴を打ち出したそばが福島市にはあります。

福島市内“蕎麦めぐり”で お気に入りの味を探す

福島県は蕎麦で有名。福島市内にも“蕎麦のお店”が数多く、しかも多種多様です。まず蕎麦粉の産地が、隣町の猪苗代町から、信州や北海道までと、それぞれのお店ごとにさまざまです。蕎麦の種類も、十割蕎麦(生蕎麦)もあれば、九割蕎麦、八割蕎麦(二八蕎麦)、七割蕎麦など店によって特長があります。お気に入りの味を探して、“蕎麦めぐり”はいかが。

郷土料理



いかと人参の素朴な味は正月に欠かせない一品として食べ継がれてきました。

福島地方で愛され伝えられてきた 冬の伝統料理 いかにんじん

細切りにしたスルメとにんじんを、酒、醤油、砂糖などで味付けした素朴な料理で、おつまみやおかずとして今では年間を通じて親しまれています。昔は、旬の野菜を生かした冬の保存食として、沢山の量を作り、春まで食べていました。松前藩士が、福島県北部に領地換えになった際に「いかにんじん」に出会い、それを松前藩に持ち帰り「松前漬け」の原型となったとも言われています。

果物



福島市特有の気候風土の中で、甘く、香り高い、みずみずしい果実が育まれます。

果実の花が咲き誇り甘い香り漂う くだものの里 福島

おいしい果実作りへのたゆまない努力と情熱が、自然豊かな風土の中で極上の味へと変わります。初夏のサクランボ・ブルーベリーに始まり、夏はモモ、秋からはナシ・西洋ナシ・ブドウ・リンゴ・柿と四季折々の味覚を楽しませてくれます。丹精込めて作られたその味から、作り手の想いが体中に広がり、何とも言えない気持ちにしてくれます。福島市の人間は、常に最高の果物を食べているのです。

市内を南北に走る「フルーツライン」と呼ばれる観光道路沿いには数多くの観光農園が広がり、果物狩りを楽しむ観光客で賑わいを見せます。

梨(14,700t)収穫量全国第一位/平成16年度
桃(12,600t)収穫量全国第二位/平成16年度

街の息吹が奏でるメロディーに心を癒される



代表作

「長崎の鐘」「高原列車は行く」「君の名は」「福島小夜曲」…作詞 竹久夢二
「とんがり帽子」…「鐘の鳴る丘」主題歌
「栄冠は君に輝く」…全国高校野球大会の歌
「紺碧の空」…早稲田大学応援歌
「我々覇者」…慶応義塾大学応援歌
「大阪タイガースの歌」…通称「六甲おろし」
「オリンピックマーチ」…東京五輪行進曲

古関氏は故郷の福島市をこよなく愛し、福島にちなんだ曲も数多く残っています。

【古関裕而】

～故郷 福島市をこよなく愛した作曲家～

本名、古関勇治。明治42(1909)年福島市大町の呉服屋に生まれ、音楽好きの父のもと、幼少より音楽に親しむ。高校卒業後の銀行勤務のかわら、ロンドンの楽譜出版社で募集していた作曲コンクールに、世界中の一流作曲家を凌いで二等に当選。音楽の道を志し、昭和5年に日本コロムビア(株)に入社。以来、戦前・戦後を通して歴史的な作品を残し、特に戦後は、荒廃した社会と疲弊した国民に未来への希望を抱かせる、明るい歌謡作品を数多く発表しました。作曲作品総数は、5,000曲にも及び、スポーツ、ラジオ、ドラマ、歌謡曲、演劇、校歌等、多岐にわたり、福島市民の誇りとなっています。

■福島駅東口よりバス「保原」「梁川」「藤田」「桑折」方面に乗り(約20分)、日赤病院前下車、徒歩3分。

【古関裕而記念館】



福島市名誉市民第1号である古関氏の業績を称え、昭和63年に開館。写真パネル、直筆色紙、楽譜等、数々の資料展示の他、自宅書斎を再現した部屋や古関メロディーの代表的な曲が試聴でき、古関メロディーを通じて昭和の心に触れながら交流できる施設となっています。

開館時間 9:00～16:30
(入館は16:00まで)
休館日 年末年始(12/29～1/3)
入館料 一般 300円
小中学生 100円

問 古関裕而記念館
TEL 024-531-3012

街なかに漂うアートの香りが豊かな情緒を育む

【花の写真館】

「福島に桃源郷あり」との言葉で、花見山と福島の美しい自然を全国に紹介した秋山庄太郎氏。秋山氏の寄贈作品を中心とする常設展示室と、氏が強く望んでいた市民が利用できるフォトギャラリーを併設しています。

■福島駅東口より「市内循環バス」に乗り(約13分)、保険福祉センター下車、徒歩2分。又は福高前下車、徒歩1分。

【福島県立美術館】

会津坂下町出身の版画家、斎藤清のコレクションはじめ、絵画、版画、彫刻など1,600点以上の美術作品を収蔵しています。

■福島駅東口より「市内循環バス」に乗り(約10分)、県立美術館入口下車、徒歩4分。
■福島駅東口より福島交通飯坂線に乗り(約2分)、「美術館図書館前駅」下車、徒歩3分。



開館時間 9:00～16:30
(入館は16:00まで)
休館日 年末年始(12/29～1/3)
入館料 一般 200円
小中学生 70円

問 花の写真館
TEL 024-534-9777



開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料 常設展 大人260円 高校生以下無料
※企画展は別途

問 福島県立美術館
TEL 024-531-5511

春夏の観光名所

春のおすすめ

【花見山と滝桜】(一泊二日)

福島市の“桃源郷”花見山と、日本三大桜のひとつ、三春町の滝桜で、春を満喫

- | | |
|-----|--|
| 1日目 | 磐越自動車道[船引三春I.C.]→滝桜→さくら湖(三春ダム)→[磐越自動車道：船引三春I.C.]→[東北自動車道：福島西I.C.]→花見山→福島街なか散策→(宿泊) |
| 2日目 | A 飯坂温泉宿泊 飯坂温泉→茂庭つ湖(摺上川ダム)→医王寺→[東北自動車道：福島飯坂I.C.]
B 土湯温泉宿泊 土湯温泉→磐梯吾妻スカイライン→高湯温泉→浄楽園→フルーツライン→[東北自動車道：福島西I.C.]
C 高湯温泉宿泊 高湯温泉→磐梯吾妻スカイライン→土湯峠→[国道115号]→アンナガーデン→福島市民家園→[東北自動車道：福島西I.C.]
D 岳温泉宿泊 岳温泉→智恵子記念館→安達ヶ原黒塚→[東北自動車道：二本松I.C.] |

夏のおすすめ

【磐梯吾妻スカイライン】(一泊二日)

高湯温泉と土湯峠を結ぶ最高標高1,622mの"空を走る道"を行き、滝を訪ねる

- | | |
|-----|---|
| 1日目 | [東北自動車道：福島西I.C.]→[国道115号]→土湯峠→磐梯吾妻スカイライン(浄土平・吾妻小富士・不動滝)→(宿泊) |
| 2日目 | A 飯坂温泉宿泊 飯坂温泉→摺上川渓谷→医王寺→[東北自動車道：福島飯坂I.C.]
B 土湯温泉宿泊 土湯温泉→仁田沼遊歩道(男沼・女沼・思いの滝)→[国道115号]→アンナガーデン→[東北自動車道：福島西I.C.]
C 高湯温泉宿泊 高湯温泉→浄楽園→フルーツライン→[東北自動車道：福島西I.C.]
D 岳温泉宿泊 岳温泉→東北サファリパーク→[東北自動車道：二本松I.C.] |

【福島街なか散策プラン】

- | | |
|------------|---|
| 1 城下町プラン | アクティ大町「ギャラリープラット」・文化通り商店街(石屋小路ホール)・福島稲荷神社・御倉茶屋・隈畔 |
| 2 信夫山周辺プラン | 福島県立美術館図書館・花の写真館・古関裕而記念館・岩谷観音・信夫山 |